

すこやか高月

第50号

発行／長浜市老人クラブ連合会高月支部 文化文芸部

楽しさ求めて

第五十一回滋賀県老人クラブ大会

十一月十四日、第五十一回滋賀県老人クラブ大会が、県立文化産業交流会館（米原）で開催された。

八〇〇名の参加者があり、午前には各種表彰を含む開会行事、大会宣言の後、全老連事務局長、齋藤秀樹氏の「老人クラブ五十年、過去・現在・未来」と題して大変有意義なお話を拝聴した。

午後は、市町等の老人クラブ連合会によるサークル活動発表が次々にステージ狭しと繰り広げられた。最後に「青い山脈」の大合唱で幕を閉じた。

宣言

- 一、健康づくり・介護予防活動の推進
- 一、地域支え合い活動（友愛）の展開
- 一、高齢者相互の連帯と自己実現をめざす活動の場づくり
- 一、高齢者の交通事故防止と災害に備えた安全・安心な街づくりの推進



中秋の越後路を旅して

総務友愛部会長 片山 敏晴

早朝に高月を出発して休憩をとりながら、上越市に入り、目の前に日本の海が広がるうみてる名立で昼食でした。昼食後は一路北越後の城下町新発田へ。今も安土桃山・江戸時代の記憶を刻む新発田城を訪れ、二人のガイドさんより上杉謙信に任せ、景勝との関わりの中で果てた新発田重家候の築城の話など聞きました。次に国の指



弥彦神社

定名勝で東日本一の名園である清水園と、当時の下級武士足軽が住んでいた長屋を見学、そしていよいよ待望の月岡温泉。贅を尽くした純和風の豪華なホテル泉慶、源泉かけ流しの大変肌に良い硫黄含有量豊富な温泉で旅の疲れを慰やし大宴会に臨みました。宴会では積もる話や景品付カラオケ大会で盛り上がりました。二日目は越後随一の豪農の館を訪問しました。江戸時代中期、農より身を起こし代を重ね昭和初期には県下一となり俵徳米は三万俵余であった伊藤家で主家、米蔵、茶室など見学。その後弥彦神社にお参りし、寺泊市場で昼食と海産物の買物。あとはビンゴゲームをしながら帰路というバス二台での越後路の旅でした。

高月支部活動報告

◆四月十日(火)

平成二十四年度定期総会

平成二十三年度事業・決算報告及び平成二十四年度事業計画(案)・予算(案)について
各単位クラブ会長、女性部代表出席
ほのぼのホール

◆四月十日(火)

第一回理事會

部会の編成、事業推進について
ほのぼのホール

◆四月十二日(木)～二十四日(火)

各部會

事業推進について ほのぼのホール

◆四月二十五日(水)

第二回理事會

各部會報告について
サン・レイバー高月

◆五月十五日(火)

長浜市老ク連理事會

平成二十三年度事業・決算報告及び平成二十四年度事業計画(案)・予算(案)について
長浜市民交流センター

◆五月十七日(木)

伊香地区老人クラブ役員會

平成二十三年度事業・決算報告及び平成二十四年度事業計画(案)・予算(案)について
北近江

◆五月二十三日(水)

第三十三回、ゲートボール大会

阿弥陀橋ゲートボール場

◆六月四日(月)

第一回健康

ウォーキング
大会
ゆるぎ山と
赤後寺参拜

◆六月七日(木)

第十二回、グラウンドゴルフ大会

高月運動広場(運動場)

◆六月十二日(火)

女性部、ねたきり・一人暮らし老人
友愛訪問(高月町内)

◆六月

二十八日(木)

第二十一回、
ペタンク大会

高月運動広場
(運動場)

◆七月

十一日(水)

健康と安心な
暮らしの
研修會

一九七名出席

ほのぼのホール



◆七月二十一日(土)

伊香高齢者交通安全推進大会
五十三名出席

◆八月一日(水)

木之本ステイックホール

第四十九号広報紙

「すこやか高月」発行

◆八月五日(日)

観音の里

ふるさと祭り

バザー出店

(協賛)

◆八月六日(月)

句歌大会 サン・レイバー高月

◆八月二十四日(金)

囲碁大会 ほのぼのホール

◆八月二十四日(金)～二十八日(月)

女性部、福祉施設友愛訪問
(市内三十一ヶ所)

◆八月三十日(木)

将棋大会 ほのぼのホール

◆九月十三日(木)

伊香地区スポーツ大会

◆ゲートボール・ペタンク

阿弥陀橋ゲートボール場

◆九月二十日(木)

社会奉仕の日(社協施設周辺清掃)

◆九月二十七日(木)

伊香地区グラウンドゴルフ大会

◆高月運動広場(運動場)

九月三十日(日)

福祉のつどい(協賛)

二五九名出席 ほのぼのホール

◆十月十九日(金)

ニユースポーツ大会

ピンボウリング・ユニカール

高月運動広場(体育館)

◆十月二十三日(火)

第三回理事會

当面する諸問題について

ほのぼのホール

◆十月三十日(火)～三十一日(水)

會員一泊二日親睦旅行 八十六名参加

月岡温泉と弥彦神社参拜

◆十一月十四日(水)

第五十一回県老人クラブ大会

三十一名出席 県文産交流會館

◆十一月二十四日(土)

第二回健康ウォーキング大会

一一七名参加

◆十一月二十六日(月)

鶏足寺と己高閣・世代閣

◆十一月二十九日(木)

役員研修會 トヨタ工場見学

◆十一月二十九日(木)

県高齢者相互支援活動研修會

十四名出席 県長寿センター

◆十一月二十七日(火)

女性部ねたきり・一人暮らし老人友

愛訪問(高月町内)

◆十二月一日(土)

第五十号広報紙

「すこやか高月」発行

クラブ紹介 今、私達にできることを

東物部老人倶楽部会長 森田 久隆

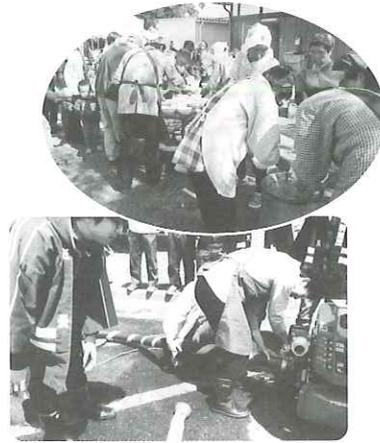
東物部老人倶楽部は「老人の福祉増進を図り健康で明るい暮らしの建設を図る」を目的に年間さまざまな事業を行っています。一月と七月に総会を開催、七月の総会には物故者の追悼法要、昼食会とレクレーション、六月には一日研修旅行を行い親睦を深めています。

毎年五月と十一月に奉仕作業を行い、神社と観音堂境内の清掃と河川の掃除、土手草刈りを実施します。

奉仕作業の後に木之本警察署や伊香消防署に依頼して、交通災害研修や防災訓練を行っています。今年五月の奉仕作業の後に高月消防団東物部班の指導による放水訓練を行いました。休日以外は若い人達の殆どが留守で我々老人や、幼い子どもばかりです。万一に備え、即対応出来るようポンプの始動方法や放水作業の訓練を実施しました。

東物部自治会では、自主防災組織が結成されています。老人倶楽部は男性が情報班、女性は給食・給水班を担当しています。十月十三日東物部自治会で防災避難訓練が実践さながら実施されました。

給食・給水班では実際に「かまど」で火を焚き「炊き出し」を行い参加者約一七〇人に豚汁をふるまいました。昼は若い人達が殆ど留守になる今日、私達の役割りが重要ではないでしょうか。



高月支部句歌会

八月六日

◆俳句 水長水柳宗匠選

五 恋幾つ育てて浜の夏終わる 司郎

四 青田風座敷へ通す一周忌 順子

三 一枚を脱ぐに手間どる野良の汗 こなみ

人 丸太橋渡る思案の夏帽子 こなみ

地 湖を切るボートの先に光る夏 水光
天 夜の秋推敲の窓閉め惜しむ 静子

◆俳句 大橋渡月宗匠選

五 聞法や背に涼風のとおりゆく のぶ

四 梅雨寒や大飯原発ふる稼動 信子

三 健やかを謝して茅の輪を潜りけり 外志郎

人 推敲の一句まとめて明け易し 光葉

地 碑は鼻祖の辞世句夏の寺 雅夫

天 さざ波や就航の歌碑夏兆す 貢

◆冠句 中田正道宗匠選

五 恥ずかしい 地球汚した核のゴミ 月光

四 頼母しい 父の背中と母の膝 孝子

三 更に尚 石橋叩いて世を渡る 見月

人 頼母しい 信用と言う宝物 多美枝

地 伸び盛り 鉄は熱きに打てと言う 弥余男

天 頼母しい 握る拳に明日が有る 貢

◆冠句 林延生宗匠選

五 運が良い 弾丸を潜った生き残り さつき

四 更に尚 津波被害に放射能 貞信

三 頼もしい 土ある限り土に生き 春明
人 成せば成る 転んだ時が起きる時 富美子

地 恥ずかしい 外してならぬ人の道 司郎

天 成せば成る 座右の銘として励む 弥余男

◆情歌 坂井桃水宗匠選

五 熱い思いの息吹きかけて 見月

四 似合うかしらと遺影の前で 雅夫

三 句歌が御縁で気心通じ 静風

人 貴方來ぬ夜は待草臥れて 春明

地 火照る余韻を浴衣に包み 順子

天 足るを知る身に幸せ満ちて 孝子

◆情歌 宮部紅梅宗匠選

五 星に前途を占いながら 綾子

四 露で濡らした浴衣の裾が 綾子

三 五山の送り火彩る風情 貢

人 更に尚興探れば楽し 春明

地 成せば成る日へ文珠の知恵を 静風

天 絞り越え来た共白髪 硯友

句歌の研鑽頼もしい



ヨミカール



将棋

真夏の真剣勝負

ニュースポーツ大会

第四十三回 夏季囲碁大会

- ◆八月二十四日(金)
- ◆ほのぼのホール
- ◆参加者 十名
- 優勝 高月 上松 茂
- 準優勝 東高田 川田 吉兵衛
- 第三位 唐川 吉川 義孝

第三十七回 夏季将棋大会

- ◆八月三十日(木)
- ◆ほのぼのホール
- ◆参加者 十名
- 優勝 高野 鐘居 忠男
- 準優勝 渡岸寺 土田 正弘
- 第三位 東高田 川田 吉兵衛

- ◆十月十九日(金)
- ◆高月運動広場(体育館)
- ◆参加者 百二十二名

◆ピンボウリング

- 優勝 西野 延寿会 A
- 準優勝 宇根 心和会
- 第三位 西柳野 三七の会
- 敢闘賞 東物部老人倶楽部 A

◆ユニカール

- 優勝 西野 延寿会 A
- 準優勝 高月 喜楽連合
- 第三位 東物部老人倶楽部
- 敢闘賞 柳野中 丹頂会

伊香地区老人クラブスポーツ大会

ゲートボール・ペタンク大会の部

- ◆九月十三日(木)
- ◆高月阿弥陀橋ゲートボール場
- ◆参加者 百三十六名

◆ゲートボールの部

- (二十チーム参加)
- 優勝 余 呉チーム(余 呉)
- 準優勝 熊 野チーム(高月)
- 第三位 北布施チーム(木之本)
- 敢闘賞 中 チーム(西浅井)

◆ペタンクの部

- 優勝 宇 根チーム(高月)
- 準優勝 延寿会Aチーム(木之本)
- 第三位 大 音チーム(木之本)
- 敢闘賞 喜楽会チーム(高月)

グラウンドゴルフ大会の部

- ◆九月二十七日(木)
- ◆高月運動広場(運動場)
- ◆参加者 二百名

男子

- 優勝 山田 豊 (高月)
- 準優勝 高橋 嘉彦 (木之本)
- 第三位 川越 正幸 (木之本)
- 第四位 新木 善明 (高月)
- 第五位 布施 進 (木之本)

女子

- 優勝 北川たず江 (高月)
- 準優勝 岡 静代 (西浅井)
- 第三位 片桐喜久子 (高月)
- 第四位 梅原 康子 (高月)
- 第五位 西川須美子 (高月)



グラウンドゴルフ大会入賞者



ほのぼの

異常気象に自然災害、経済不安や政治不信、どれをとっても暗いニュースで明け暮れた今年も残り少なくなりました。

そんな中で老々連高月支部では、この広報で紹介されているように、スポーツ、文化、友愛奉仕等々、会員相互の親睦と生きがいにつながる諸活動が、会員の皆さんの協力により順調に展開され年末を迎えることになりました。

我々世代が元気で社会に奉仕でき、未来を背負う若い世代に希望の灯りが見えるような、そんな新しい年を迎えられるよう祈りたいものです。